

家畜衛生だより

置賜家畜保健衛生所
置賜家畜衛生指導協会
〒999-2232 南陽市三間通 444
TEL/FAX 0238-43-3217/5249

R6-38 R6年 12月発行

家畜飼養農場での防疫対策の徹底

飼養衛生管理基準遵守の再徹底を！

これから年末年始や旧正月の時期を迎え、人の出入国や移動が活発になることが見込まれるため、農場内への病原体侵入リスクが高くなり、一層の警戒が必要となります。

再度、農場における病原体侵入防止の徹底をお願いします。

口蹄疫

口蹄疫は牛や豚などで発熱や食欲不振に始まり、**泡状のよだれ**を流したり、**口、鼻、ひづめ、乳房に水疱（水ぶくれ）**ができるのが特徴です。



泡沫性流涎



鼻のびらん



口腔内水疱



水疱の破れ

写真：宮崎県提供

ランピースキン病

ランピースキン病は、**蚊、ハエ、ダニの媒介による機械的伝播**や、感染した牛の移動により感染が拡大します。感染した牛は、**全身の皮膚の結節や水腫、発熱、泌乳量の減少**などがみられ、生産性に影響を及ぼします。



結節（全身性）



皮膚病変



鼻汁

農場への口蹄疫等の侵入を防ぐため、下記事項の徹底をお願いします！

1 畜産関係者等の海外渡航の自粛

口蹄疫等が発生している国への渡航を可能な限り自粛しましょう。

外国人従業員を雇っている方は、日本への持ち込みが禁止されている肉製品等が、海外からの携帯品や国際郵便物等によって持ち込まれることがないよう、従業員に対してお知らせ願います。

2 農場における病原体侵入防止対策の再徹底

・飼養管理に関係のない方の衛生管理区域や畜舎への立入りを制限してください。

・やむなく衛生管理区域に入場する畜産関係者等には、車両の消毒、専用の衣服及び長靴の着用、手指消毒を徹底してください。

・野生動物侵入防止のため、防鳥ネット、畜舎の壁や天井等に破損箇所、隙間がないか再点検し、修繕をお願いいたします。

・ランピースキン病の流行が懸念される地域では、農場内対策として、牛舎や牛体の消毒、吸血昆虫対策及び牛舎周囲の草刈りを行ってください。また、農場から出る車両についても吸血昆虫防除の対策を講じてください。

3 家畜の健康観察、異状を認めた場合の早期通報

家畜の健康観察を毎日行い、異状を認めた際は、かかりつけの獣医師又は家畜保健衛生所まで早期通報をお願いします。

0238-43-3217
080-1840-0705

上記電話番号で24時間対応しています！